

ロシアのスキーのメッカが よりハイテクに

ロシアのウィンタースポーツのメッカであるクラスナヤ・ポリャーナは、2014年に冬季オリンピック大会が開催されて以来、常に進化し続けています。そうした中、リフト券販売、レンタルおよびスキーレッスンの申し込みを一元管理するアクセスのソリューションが導入されました。



クラスナヤ・
ポリャーナ

ロシア

冬の大舞台

2014年冬季オリンピック大会が開催されたクラスナヤ・ポリャーナは、黒海沿岸のリゾート地、ソチから車でわずか1時間あまりの距離に位置するスキーリゾートです。2009年に開業したこのリゾートは、オリンピックの開催にあたって数千億円を投じた拡張工事が行われました。2014年にこの地域が山岳系競技の会場となって以来、クラスナヤ・ポリャーナは進化を続け、現在では複数の専用ホテルと30キロメートルに及ぶコースを備えた一大ウィンタースポーツリゾートに変貌を遂げました。そして、この地域のレベルの高さを表しているのは、ゲレンデだけにとどまりません。

アクセスによる最新のリフト乗車管理

進化を続ける中でさらなるデジタル化を推進していたクラスナヤ・ポリャーナは、スキー場のあらゆるオペレーションを一元化管

理する独自のニーズに合わせたシステムを求めています。

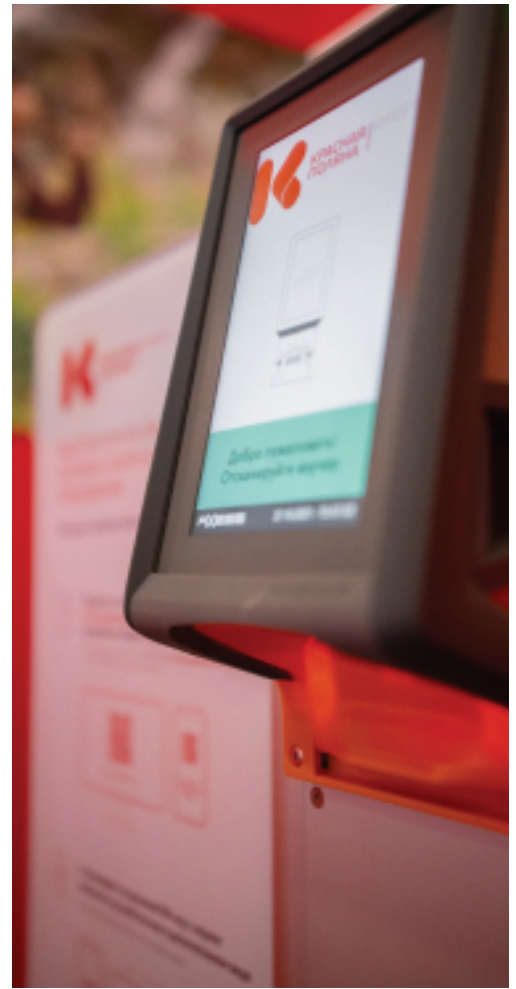
アクセスロシアでプロジェクトチームを主導したキリル・ブルーニンは次のように述べています。「クラスナヤ・ポリャーナは全てを一括管理できるソフトウェアを求めており、リフト券販売、レンタル、そしてスキー教室を一元管理化する必要がありました。難しかったのは、既存のウェブソリューションに全てを統合することでした。」こうした課題を抱えながらも、アクセスロシアはプロジェクトの始動からわずか3か月半でシステムの納品および導入を完了させました。

スキー場とゲストの双方にメリット

こうしたシステムの導入により、スキー場とゲストの双方にもたらされるメリットは計り知れません。スキー場では販売作業や一つ一つの作業項目の策定にかかる労力が大



アクセスピックアップボックス600



幅に削減されるほか、販売状況をより詳細に把握することが可能になります。さらに、効率化と管理コストの削減効果により、時間的余裕が生じます。

一方、ゲストの利便性向上に関しても、新しいシステムが役買っています。全てのホテル、レンタルステーションおよび山麓駅に窓口販売システムが導入された結果、リフト券の購入だけでなく、レッスンやレンタルの申し込みもより便利になりました。

環境配慮型カードでスムーズなリフト乗車

ウェブ購入後、現地のピックアップボックスで発行されるリフト券により、新たに導入された34台のスマートゲートを通過し非対面・非接触でリフトに乗車できます。リフト券として使われるアクセスバーコードカードオーガニックは環境にやさしい紙製です。アクセスは、デジタル化と環境への配慮を同時に実現するシステムでスキー場の運営を支援します。



アクセススマートPOS

- ➔ アクセス
スマートPOS
- ➔ アクセス
スマートプリンター 600
- ➔ AX500スマートゲート次世代
ターンスタイル
- ➔ AX500スマートゲート次世代
フラップバドルADA
- ➔ アクセス
ピックアップボックス600
- ➔ アクセス
リゾートレンタル
- ➔ アクセス
リゾートテックデスク
- ➔ アクセス
リゾートレッスン
- ➔ アクセス
リゾートレッスンマネージャー
- ➔ アクセス
ウェブショップ